

先日、亡き母の古い日記帳を見つけた。市販のノートに日常のささいなことを書き留めたもののだが、ペラペラと流し読みして、あるページに眼が止まった。日付は昭和四十四年八月三日。

谷さんが竹下登衆議院議員を連れてきて昼食を供す…とある。その年の師走に衆議院総選挙が行われているので、前もって県内遊説に帰県された竹下先生に随伴して、当時町議だった谷栄助さんがこの地区の案内役をされたのである。その年の自民党は大勝し、第三次佐藤内閣の内閣官房長官に史上最年少で抜擢された竹下先生が、出世の階段を登っていく節目となる選挙だった。

母のノートには、その日の和膳の献立などがびっしり書き込まれていたが、晩酌の時に父に尋ねてみると、最初は訥々とだったが、だんだん饒舌に語り出した。

「今でもよう覚えとるんは、母さんが谷さんから頼まれてのう、会席料理を五、六人前作って二階で食べてもらうたんだが、竹下さんは、鮎の塩焼きを箸でとんとんと押さえてから、なんと美味しい、美味しいゆーて、上手に食べさせたんじや。よほど感激したんか、一週間くらいして自筆の礼状が届いたのはびっくりした。お礼の品だいうて高級な袱紗も入った。竹下さんはまだ四十過ぎだったろうが、その頃から心配りのある、人との出会いを大切にす人だったんたのう」

「竹下さんは酒も飲みなさったか。その鮎はどがあしたんか」と私…、「ばかたれ、ちよつとは飲みなさったが、お前たあ違わーや。鮎はのう、前の日に西田のまーちゃんに頼んで掛けてもらうたんじや。今はダムに沈んだるが昔の安養寺のへんは天然鮎でも大けなのがおったけえの、サバぐらいある尺鮎だ。頭が小そうて肩が盛り上がとった。川が違う、苔が違う、今頃の鮎とは全然違う。」

焼いたんはワシだ。裏に大けな火鉢があるうがや、あれに炭をおこしてのう、鮎に竹串をうってまわりを立てて焼いたんじや。炭は強火の遠火でないとけん。鮎は腹から焼く。腹ワタから苦い脂を出してしま。どつと出るけえ煙がかぶらんよきに気をつけて、黄金色に焼いたら次に背中を焼く。今度はジワジワとうまい脂が出てくるけえ、最後に側面をこんがり焼いて出来上がりじや。

こつといたらそれえのう、再々返さんことと、すずで黒うならんように、火鉢から離れんことかのう」

今度は家内が「大したもんじゃねえお父さん。修行を積んだ本職のようなねえ」「ほんとはのう、ひー姉さんが横からやかましゅう言いんさったんじや」と父は微笑んで、母の遺影を箸でちよんちよんと指した。

ふるさと創生を説いた竹下先生が、古和の里の天然鮎に感動されたという話は私を喜ばせたが、それより何より、今度裏の火鉢で尺鮎を焼いて、頭からかぶりついてやろうと強く思った夜だった。といつても、昔ながらの天然鮎が捕れるかどうか問題なのだが…。

三隅川は病んでいる…、川漁師の共通した思いだ。



7月10日(土) 七夕まつり



…の願いが叶いますように!

今年の七夕まつりは、天気に恵まれ外で盛大に恒例のそうめん流しができました。参加者49名。前日から、地域の方のご協力により、孟宗竹の切り取り・料理の準備など、熱い中用意していただきました。当日は、早くからの準備。竹箸も手作り! そうめん流しは大成功!! もちろん、ご婦人方の料理に、子ども達が「今日は最高!」と叫びながら、喜んで食べていました。…確かに、私も暑い中、しっかり食べさせて頂きました。

8月22日(日) 異世代交流会で楽しもう!

今年も、老若男女を問わず、公民館でみなさん一緒に楽しみましょう!
★ 送迎バスもあります。 遠くの方も気軽にご参加ください!!

時間…10:00~ 黒沢公民館

参加費…大人⇒200・子供⇒100

(昼食) 地域のみなさんの手作り料理をいただきます!



〈お盆を迎えて〉

当公民館区内で、この一年お亡くなりのお名前を揚げ、これまで永年地区の為に貢献された遺徳を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

※敬称略

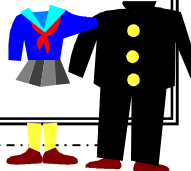
(黒沢7区) 森川庄三・(黒沢6区) 三浦時代
(黒沢七区) 岩根 巖・(矢原) 佐々木繁美
(上古和) 藤原義雄

『三隅中学校開校10周年記念誌の編集について』

三隅中学校は、「岡見中」・「井野中」・「三隅中」3校が、平成13年に統合し、本年度は開校10周年を迎えることとなりました。

そこで、「三隅中学校開校10周年記念誌」を作成することとし、広く地域の方々からも原稿をお寄せいただきたいと思います。

※ 原稿用紙は、各公民館にて用意してあります。



ひだまり
いよいよ夏本番真っ盛りです。暑さで、草刈りや農作業など、体に堪えてはいませんか?
体にあった仕事に心掛けましょう…とは言っても、私もなれないクワを持ち、公民館周辺の草取りをして、暑さと長時間の姿勢で、腕と変なところが痛くなった情けない思いがあります。(わかる人は、わかるはず…。)

そういえば、7月に3期・4期の方の合同同窓会をされ、お忙しい中、公民館に寄られ懐かしいお話を聞かせていただきました。
「みなさん、ありがとございました。」
お盆も近くなり、お墓掃除やお墓参りに行かれる方も多いことと思います。
ご先祖の供養・ふる里の良さに触れ、昔の頃を思われる良い機会ですね。
子ども達・孫たちにもお話をしながら、一緒にお参りされると、いいですね。(直)

黒沢公民館和室にて集合写真



図書室で館長と懐かしい会話



7月11日(日) 雨
公民館へ、15名の三期・四期の卒業生のみなさんが、お忙しい中、足を運んで下さいました。
地元の神楽社中を呼び、神楽舞に感動し、楽しかった同窓会の話。公民館への要望は、「地元へ気軽に帰って来られるベースをつくって欲しい」との声が聞かれました。

畑のおもしろい野菜



6区 石川 澄さん



矢原郷 山崎チエ子さん

ちょっと気になる地域の話…上古和「古和三尊仏」



古和三尊仏



この持仏堂に安置された本尊阿弥陀如来像及び脇侍仏の観世音、勢至両菩薩立像を古和三尊仏という。一度お参りに行かれてはどうでしょう。

六月二十七日(日) 「古和三尊仏」のお祭りがありまして。別称を小杉観音ともいう。